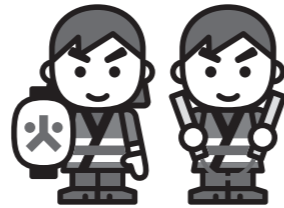


◎少年消防クラブ員を募集しています！

▼留萌消防組合では現在、留萌、小平、鬼鹿の各少年消防クラブ合わせて約100人のクラブ員が活動しています。少年消防クラブに参加し、防火・防災の正しい知識を身に付けませんか。入会方法などの詳細については、留萌消防署へお問い合わせください。

●主な活動

・宿泊研修 ・応急手当訓練 ・ロープ結び体験など



◆消火器の使い方について

皆さんは、火災が発生した際に消火器を正しく使用することができますか？いざというときに備えて、正しい消火器の使い方を学びましょう。



【注意点】

※火災を見つけた場合には、まず大きな声で「火事だ！」と叫び、周りに知らせましょう。
※天井付近まで延焼している場合は、避難を優先しましょう。

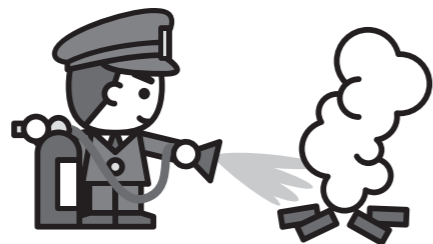
火災から 生命を守ろう

● 誌面に対するお問い合わせ先 ●

留萌消防組合 留萌消防署
予防課予防係

☎ 42-2211 FAX 43-5150

は、留萌
消防署へ
お問い合わせ
ください。



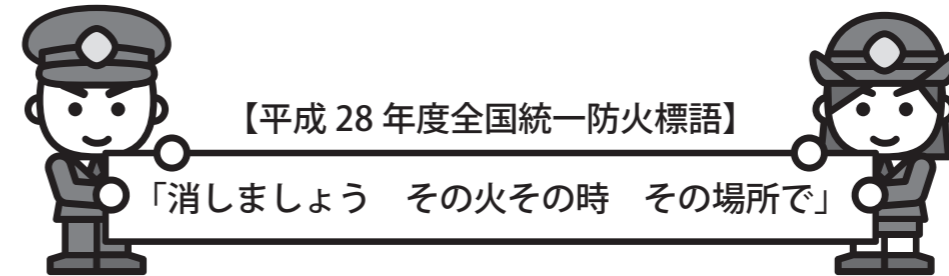
消火器取り換え事業 のご案内

一般社団法人北海道消防設備協会旭川支部では、火災時に消火器を使用し、初期消火に協力した方を対象として、無償で消火器の取り換え、または消火薬剤の詰め替えを実施いたします。詳しくは、留萌消防署へお問い合わせください。

秋の火災予防運動

平成 28 年 10 月 15 日(土)～ 31 日(月)

※期間中は、午後 8 時に防火サイレンを吹鳴します。



●秋の火災予防運動を実施します

これからの時期は、暖房機器を使用する機会が増えます。暖房機器による火災を防ぐためにも、整備・点検は使用前に必ず行いましょう。

留萌消防署では、火災発生の危険性が高まるこの時期に火災予防運動の一環として、火災防御訓練をはじめ、火災予防に関連する各種行事を予定しています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



第 59 号

◆暖房機器による火災を防ぐために

気温が下がり、暖房機器を使用する機会が増えるこの時期は、暖房機器の整備不良や取り扱い不注意などによる火災の発生が増える傾向にあります。

特に暖房機器の上に洗濯物が落下し、熱せられた落下物から出火したケースや使用中に燃料を補給し、燃料に引火したケースなどが多く見られます。

暖房機器の取り扱いには十分に注意しましょう。

●暖房機器による火災を防ぐためのポイント

- ①衣類などの可燃物を暖房機器の周りに置かない
 - ・暖房機器の周りに洗濯物を近づけ、乾かすことは火災を引き起こす原因となります。十分に注意しましょう。
- ②制汗剤や整髪スプレーなどを暖房機器の周りに置かない
 - ・スプレー缶などは、暖房機器の放射熱で破裂するおそれがあります。
- ③暖房機器の火は必ず消してから外出する
 - ・外出の際は、火を消す習慣を付けましょう。

●火災以外で注意すること

石油ストーブなどを使用する際は、一酸化炭素中毒への注意が必要です。一酸化炭素中毒は、石油などの不完全燃焼で発生した一酸化炭素が体内のヘモグロビンと結びつき、酸欠状態になることを言います。一酸化炭素中毒で死亡する場合があります。

石油ストーブなどを使用する際は、定期的に部屋の空気を入れ替えるなど換気に注意しましょう。